

路政關係參考判例 (三)

高 坂 孝 三

○道路工事執行令第六條第一項第六號ノ入札又ハ請負ニ關スル不正行為ノ範圍ト贈賄

道路工事執行令第六條第一項第六號ニ所謂入札又ハ請負ニ關スル不正ノ行為ニハ苟モ入札若ハ請負又ハ其工事ノ執行ニ關スル不正ノ行為ヲ總テ包含スルモノト解スル相當トス從テ道路工事ニ關スル請負契約者タルコトヲ得シカ爲又ハ

其ノ請負ニ係ル道路工事ノ現場監督上ノ便宜ヲ得シカ爲當該吏員ニ贈賄シタル行為ハ右規定ニ所謂請負ニ關スル不正ノ行為ニ該當スルモノトス(昭和七年第二百五十四―九號同八年三月九日宣告)
〔判決理由〕右規定ハ公正ニ入札又ハ請負ヲ爲サシメ且其ノ工事ヲ執行セシムルコトヲ目的トスルモノナルヲ以テ同規定ニ所謂不正ノ行為ニハ苟モ入札若ハ請負又ハ其ノ工事

ノ執行ニ關スル不正ノ行為ヲ總テ包含スルモノト解スルヲ相當トス而シテ本件ニ於テ原告等カ道路工事ニ關スル請負契約者タルコトヲ得シカ爲又ハ其ノ請負ニ係ル道路工事ノ現場監督上ノ便宜ヲ得シカ爲ニ當該吏員ニ贈賄シタルコトハ當事者間爭ナキ所ニシテ右行為ハ明ニ前記規定ニ所謂請負ニ關スル不正ノ行為ニ該當スルモノトス

○不正行為者ト名義人ト力異ナル場合ノ道路工事執行令

第六條第一項第六號ノ適用

縣道工事ニ關スル入札又ハ請負人トシテ資格ナク從來父名義ニテ道路工事ノ入札又ハ請負ヲ爲シ來リタル場合ニ於テ該不正行為ヲ名義人ノ行為ト看做シテ道路工事執行令第六條第一項第六號ノ規定ヲ適用シタルハ正當ナリ

〔昭和七年第二百六十號
同 八年三月九日宣告〕

〔判決理由〕原告ノ長男タル訴外(甲)ハ福井縣ノ道路工事ニ關スル入札人又ハ請負人トシテノ資格ナク從來原告名義ニテ道路工事ノ入札又ハ請負ヲ爲シ來リタルモノナルコトハ當事者間爭ナキ所ナリ而シテ……右(甲)ハ福井縣ノ道路工事請負ニ關シ贈賄ヲ爲シタル爲……罰金刑ニ處セラレタル者ナリ斯クノ如キ場合ニ於テハ道路工事執行令第六條第一項第六號ノ規定ノ適用ニ付テハ右(甲)ノ爲シタル入札又ハ請負ニ關スル不正ノ行爲ハ之ヲ名義人タル原告ノ行爲ト看做スヘキモノト解スルヲ相當トスルヲ以テ被告カ原告ニ對シテ爲シタル本件入札及請負資格ノ停止處分ハ正當……

○受益者負擔金賦課ノ根基(都市計畫事業ニ關ス)

關係内務省令ヲ以テ費用負擔者トシテ指定シタル者ニ該當スル者ト雖當該都市計畫事業ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ニ非サレハ受益者負擔金ヲ賦課セラルヘキニ非ス

〔昭和六年第二百八十六號
同 八年四月一日宣告〕

〔判決理由〕都市計畫法第六條第二項及同法施行令第九條

第四號ノ規定ニ依レハ都市計畫事業受益者負擔金ヲ賦課スルニハ其ノ賦課ヲ受クル者カ該事業ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ナルコト及内務大臣ニ於テ費用負擔者トシテ指定シタル者ニ該當スル者ナルコトノ二條件ヲ具備スルコトヲ要スルカ故ニ内務大臣カ關係内務省令ヲ以テ費用負擔者トシテ指定シタル者ニ該當スル者ト雖當該都市計畫事業ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ニ非サレハ之ニ對シテ受益者負擔金ヲ賦課スヘカラサルコトハ當裁判所ノ判例トスル所ニシテ

〔昭和五年七月二十九日 宣告
同二年第二二號事件中間判決參照〕 今之ヲ變更スルノ要ヲ認メス……然レハ原告等カ大正九年内務省令第二十八號及昭和四年内務省令第三十四號ヲ以テ費用負擔者トシテ指定セラレタル者ニ該當スルモノナルコトハ原告ニ於テモ爭ハサル所ナルモ原告等カ本件道路修築工事ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ニ非サルニ於テハ之ニ對シ受益者負擔金ヲ賦課スルコトヲ得サルモノナリ

○道路修築ト隣接土地ノ受益

道路ノ修築ニ因リ隣接土地ノ權利者カ著シク利益ヲ受ク

ルハ普通ニ顯著ナル事例ナリ (昭和六年第二百八十六號
同 八年四月一日宣告)

〔判決理由〕……檢證ノ結果ニ依レハ本件道路ハ他ノ道路ニ比シ別段ノ特色ナキモ幅員廣濶、體裁整然、其ノ他鋪裝、街路樹、街燈等ノ設備ニ於テ一等大路タルノ構成ニ缺クル所ナキモノニシテ斯クノ如キ道路ノ修築ハ交通其ノ他一般ニ利益ヲ生シ殊ニ其ノ道路ニ隣接セル一定地域内ノ土地ニ關スル權利者カ他ノ一般ノ者ニ比シ之カ爲メ著シク利益ヲ受クルコトハ普通ニ顯著ナル事例ナルカ故ニ本件道路附近ノ土地ノ權利者タル原告等ハ本件道路ノ修築ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ト認ムヘキモノニシテ……原告等ハ本件受益者負擔金ヲ賦課セラルヘキモノ……(同趣旨前出 昭和七年五月二十七日宣告 同四年第百六十四號事件判決)

○收用土地ニ付借地權ナキ者ヲ關係人トシテ爲シタル補償裁決ノ違法

收用土地ニ付賃借權ヲ有セサル者ヲ借地權者タル關係人トシテ土地收用ノ裁決ヲ爲シタルハ違法ナリ

(昭和七年第二百六十一號
同 八年五月三十日宣告)

〔判決理由〕被告カ收用ノ裁決ニ於テ土地ニ對スル補償額ヲ定ムルニ付テ該土地ニ賃借權ノ設定アル場合ト設定ナキ場合トニ依リ土地所有者ニ對スル補償額ヲ異ニシ賃借權ノ設定アル場合ノ補償額ハナキ場合ノ補償額ヨリ借地權ニ對スル補償額タケ少額ニ定ムル主義ヲ採用シ居ルコト及本件裁決ニ於ケル原告ノ土地ニ對スル補償額モ右主義ニ則リ借地權ニ對スル補償額タケ少額ニ定メラレタルモノナルコトハ被告ノ争ナキ所ナルヲ以テ被告カ本件裁決ニ於テ借地權ヲ有セサル(甲)ヲ借地權者タル關係人トシテ同人ニ對シ借地權ノ補償ヲ裁決シ因テ原告ニ對スル補償額ヲ過少ニ裁決シタルハ違法ニ原告ノ權利ヲ傷害スルモノナリ

○前後二回土地細目ノ公告アリタル場合前ノ公告後後ノ公告前ニ收用地上ニ在ル家屋ノ賃借權ヲ取得シタル者ノ地位

同一ノ土地收用ニ付府縣知事ノ土地細目公告カ前後二回アリタル場合ニ於テ前ノ公告後後ノ公告前ニ收用地上ニ在ル家屋ノ賃借權ヲ取得シタル者ハ土地收用法第五條第二項ニ

所謂關係人ニ該當スルモノニシテ同條第三項ニ所謂「第十九條ノ地方長官ノ公告後其ノ土地ニ關シテ權利ヲ取得シタル者」ニ該當セスト解スルヲ相當トス

(昭和五年第九十八號
同八年七月一日宣告)

〔判決理由〕本件土地收用ニ付起業會社ノ申請ニ依リ大阪府知事カ昭和二年十二月二十六日土地收用法第十九條第一項ニ依ル本件收用土地ノ細目公告(以下第一公告ト略稱)ヲ爲シタルモ同三年十二月二十五日迄ニ起業會社カ被告ニ收用裁決ノ申請ヲ爲サス更ニ同知事ニ土地細目公告申請ヲ爲シタル結果同知事ハ同日再ヒ本件收用土地ノ細目公告(以下第二公告ト略稱ス)ヲ爲シ同四年九月九日起業會社カ爲シタル收用裁決ノ申請ニ基キ被告カ同五年六月三日日本件收用ノ裁決ヲ爲シタルモノナルコト及原告カ本件收用地上ニ在ル林榮造所有家屋ヲ昭和三年六月二十日同人ヨリ賃借シ同年七月十二日ヨリ之ニ居住シタルモノナルコトハ當事者間爭ナキ所ナリ然ラハ本件起業者ハ前示第一公告後一ケ年内ニ被告ノ裁決ヲ求メサリシモノナルヲ以テ右公告ハ効力ヲ

失ヒ更ニ前示第二公告ニ基キ本件裁決アリタルモノニシテ原告ハ該公告前本件收用地上ニ在ル家屋ノ賃借權ヲ取得シタルモノナルニ因リ本件收用ニ付土地收用法第五條第二項ニ所謂關係人ニ該當スルモノニシテ同條第三項ニ所謂「第十九條ノ地方長官ノ公告後其ノ土地ニ關シテ權利ヲ取得シタル者」ニ該當セスト解スルヲ相當トス

○市長力管理者トシテ爲シタル道路受益者負擔金賦課處分ニ對スル行政訴訟提起ノ手續

市長カ管理者トシテ爲シタル道路受益者負擔金賦課處分ニ對シテ行政訴訟ヲ提起スルニハ行政裁判法第十七條第一項ニ依リ地方上級行政廳タル府縣知事ニ訴願シ其裁決ヲ經市長又ハ裁決行政廳ヲ被告ト爲スヲ要ス

(昭和八年第七十一號
同八年九月十八日裁決)

〔裁決理由〕道路法第十七條及第三十九條ニ依レハ本件賦課處分ヲ爲シタル者ハ尾道市長ナリト認ムヘク從テ該處分ニ對シテ行政訴訟ヲ提起スルニハ行政裁判法第十七條第一項ニ依リ地方上級行政廳タル府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ヲ

經又右道路管理者タル尾道市長又ハ裁決行政廳ヲ被告ト爲スヘキモノナルニ拘ラス本訴ハ前示裁決ヲ經ルコトナキノミナラス尾道市ヲ被告トシテ提起シタルモノナルヲ以テ不適法タルヲ免レス

○官有地確認ヲ求ムル行政訴訟

或ル區域ヲ道路ナリトシ該區域ニ築造セル物件ヲ取除キ其ノ區域カ官有地ナルコトノ確認ヲ求ムル事項ニ關シテハ法律勅令中行政訴訟ノ提起ヲ許シタル規定ナシ

(昭和八年第八十二號
同八年十一月九日裁決)

○町會ノ決議ヲ經サル道路敷地收用申請ニ對スル土地收

用裁決ノ當否

町道ノ開鑿變更ニ必要ナル道路敷地ヲ取得センカ爲町長カ起業者トシテ土地收用ノ申請ヲ爲スニ當リ町道ノ開鑿變更及其ノ道路敷地ノ取得ニ付町會ノ決議ヲ經ス且町道ノ路線變更ニ付町會ノ諮問ヲ經サルコトアルモ之ヲ以テ土地收用ノ裁決ヲ違法ナリト爲スヲ得ス

(昭和八年第二百二十九號
同八年十二月二十三日宣告)

○道路敷地取得ノ爲ニスル土地收用ト土地細目公告ノ時期

土地細目ノ公告ハ路線ノ定マリタル後ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得サル法令上ノ制限ナシ

(昭和八年第二百二十九號
同八年十二月二十三日宣告)

〔判決理由〕原告ハ本件土地細目公告ハ未ダ路線ナキ箇所ニ付爲シタルモノナレハ該公告ハ無効ナルカ故ニ其ノ區域内ノ土地收用ノ裁決ハ違法ナリト主張スレトモ土地細目ノ公告ハ路線ノ定マリタル後ニ非サレハ爲スコトヲ得サル法令上ノ制限ナキヲ以テ右主張ハ理由ナシ

○土地收用補償額決定ノ標準

土地收用ニ因ル損失補償額ハ收用ニ基因スル附近土地ノ變動價額ヲモ考慮シテ收用時期ニ於ケル收用地ノ價額ニ依リテ之ヲ決定スヘキモノトス

(大審 昭和八年(オ)第三九六號
同九年二月二十六日判決)

〔判決理由〕按スルニ土地收用ノ公表アリタル後ハ收用地域ノ細目公告前ト雖該地域及其ノ附近ノ土地ノ價額ハ收用

ニ基因シ昂低變動スルコトアルヲ免レサルモノニシテ被收
用者ニ對スル該土地ノ損失補償額ヲ決定スルニ付テハ須ラ
ク斯クノ如キ收用ニ基因スル價額ノ變動モ亦之ヲ參酌考慮
スヘキモノトス蓋シ若然ラストセンカ收用時期ニ於テ附近
ノ土地ハ常時ニ於ケル事情ノ變化ニ因リテ利不利ヲ受クル
ニ拘ラス收用セラルヘキ土地カ之ト所遇ヲ異ニセラルルコ
トトナリ其ノ之ヲ是認スヘキ理由ヲ知ルヲ得サレハナリ

(大正三年(オ)第一八九號大正四年七月十二日當院判決、參照)然
大正七年(オ)第六九一號大正八年八月二十五日當院判決、然
ルニ今之ヲ原判決ニ照スニ原判決ハ本件收用地附近一帯ハ
大正八年八月十三日被上告市カ告示第六十四號ヲ以テ路線
トシテ收用スヘキ旨ノ公告ヲ爲シタルヲ以テ附近土地ノ價
額ハ著シク變動アルコトヲ認メ尙ホ附近ノ土地ニ付キ其後
ニ於ケル賣買價額ヲ認定シ乍ラ本件土地ニ付キ收用時期タ
ル大正十二年八月十二日當時ニ於ケル係爭損失補償額ヲ決
定スルニ付キ何等如上特殊ノ事情ヲ考慮スルコトナク前示
附近土地ノ收用時期ニ於ケル賣買價額ハ右補償額ヲ決定ス
ルノ資料ト爲スニ適セサルモノト爲シ此ノ理ヲ基本トシテ

本件補償額ヲ決定セリ之全ク前掲補償額決定ニ對スル見解
ヲ誤リタルニ因ルモノナルコト判文上明白ナリ

○自動車使用車輛數ト營業免許ノ條件

大正八年熊本縣令第六號自動車取締施行規則第十條及第
十條ノ二ニ依レハ使用車輛數ハ自動車運輸營業免許ノ條件
ト解スルヲ相當トス(昭和七年第三百三十四號)
同九年三月十六日宣告)

〔判決理由〕大正八年熊本縣令第六號自動車取締施行規
則第十條ニハ「取締令第十二條ニ依リ運輸營業ノ免許ヲ出
願セントスルトキハ左ノ事項ヲ具申スヘシ(中略)七、使
用車輛ノ種類、乗客定員若ハ荷物積載定量並ニ輛數(下
略)第十條ノ二ニハ「前條第一項第四號乃至第十一號ノ事
項ヲ變更(中略)セントスルトキハ前條ノ手續ニ準シ知事
ニ願出テ許可ヲ受クヘシ(中略)トアリテ知事ノ許可ナク
シテ使用車輛數ヲ變更スルコトヲ得サルモノナルカ故ニ使
用車輛數ハ自動車運輸營業免許ノ條件ト解スルヲ相當トス
原告ハ使用車輛數ヲ免許ノ條件トセハ免許願記載ノ車輛數
ノ有無ヲ檢査シ又免許證ニ車輛數ヲ記載スルコトヲ要スル

ニ拘ラス使用車輛數ヲ検査セスシテ免許ヲ與ヘ又乙第四號證(註、昭和六年三月二十七日附熊本縣指令保交第二七五號路線延長許可書)ニ車輛數ノ記載ナキヲ以テ觀ルモ使用車輛數ハ免許ノ條件ニ非スト主張スルモ使用車輛數カ免許ノ條件ナリト云フハ運輸營業ヲ實行スルニハ所定ノ車輛數ヲ使用スルコトヲ條件トストノ意又乙第四號證ハ單ニ第二ノ免許ノ路線延長ノ許可指令書ニ過キスシテ使用車輛數ハ既ニ第二ノ免許指令書(乙第三號證)ニ於テ定マレルカ故ニ原告ノ主張ハ理由ナシ

○條件違反ト免許ノ取消

免許ノ條件所定ノ車輛數ヲ使用セスシテ自動車運輸營業ヲ爲シタル行爲ハ大正八年内務省令第一號自動車取締令第二十六條第四號ニ該當シ該免許ヲ取消シタル處分ハ正當ナリ

(昭和七年第百三十四號
同九年三月十六日宣告)

〔判決理由〕所定ノ時刻ニ車輛ヲ運行シ定員ノ制限ヲ守リ所定ノ路線ニ於ケル交通ノ圓滑ト安全トヲ圖ルニハ免許ノ車輛數ヲ使用スルコトヲ必要トス……而シテ……原告ハ免

許ノ條件所定ノ車輛數ヲ使用セスシテ本件各自動車運輸營業ヲ爲シタルモノニシテ大正八年内務省令第一號自動車取締令第二十六條第四號ニ該當シ被告カ本件各營業免許ヲ取消シタルハ正當ナリ

○車輛検査ノ性質

大正八年内務省令第一號自動車取締令第五條ニ依ル車輛ノ検査ハ單ニ車輛ノ使用上ニ於ケル危害ノ有無ヲ検査スルニ過キサルカ故ニ車輛検査證ニ偶々使用路線ノ記載アルノ故ヲ以テ大正八年熊本縣令第六號自動車取締令施行規則第十條ノ二ニ依ル同則第十條第七號ノ事項變更ノ許可アリタルモノト爲スラ得ス

(昭和七年第百三十四號
同九年三月十六日宣告)

○道路敷地ノ明渡請求

抵當地カ道路トシテ國ノ營造物ト爲リタル以後ニ於テ競落ニ因リ之ヲ取得シタル者ハ特許ニ依ル軌道敷設者ニ對シ之レカ軌道ノ收去土地ノ明渡ヲ請求スルコトヲ得サルモノトス

(大審昭和八年(オ)第二〇七七號
同九年三月三十日判決)

〔判決理由〕抵當權ノ設定アル土地ノ所有權ヲ取得シタル

者カ假令國ナル場合ニ於テモ該抵當權ノ實行ノ結果之ヲ讓落シタル者ハ其ノ所有權ヲ取得スルコト論ナシト雖該土地カ國ノ所有ニ歸シタル後右抵當權實行前ニ於テ該土地ヲ敷地トスル道路ニ付行政官廳カ路線ノ認定ヲ爲シ且道路法施行令第十一條ニ依リ之カ供用開始ノ告示ヲ爲シタル結果國ノ營造物ト爲リタルトキハ其ノ後ニ於ケル競落人ハ私權ノ行使ヲ制限セラレタル狀態ニ於テ右土地ヲ取得シ道路法第六條ニ依リ所有權ノ移轉又ハ抵當權ノ設定又ハ移轉ヲ除ク外私權ノ行使ヲ制限セラレタルモノト謂ハサルヘカラス從テ苟モ行政官廳カ前記路線ノ認定ヲ爲シタル以上ハ假令之ニ因リテ抵當權者ノ權利ヲ害シ又ハ競落人ノ私權行使ヲ制限スルノ結果ヲ招來スルモ該路線認定ノ行政行為ヲ無効ナリト爲スコトヲ得ス左レハ原審カ冒頭ニ説明スル所ト同一理由ニ基キ論旨摘錄ノ如ク說示シ本件土地ハ所有者瀬尾増藏ノ寄附ニヨリ國ノ所有トナリ有効ニ道路トシテ認定セラレタルモノニシテ之カ爲其ノ土地ニ對スル抵當權實行ノ結果取得シタル所有權ハ當然制限ヲ受クヘキモノナル旨判示

シタルハ正當……(軌條收去土地明渡を請求するを得ず)

○行政訴訟ヲ許ササル事項

單ニ道路敷地ノ範圍ヲ指示シタルニ止マリ道路法第十九條ノ處分ト認メ難キ事項ニ付テハ法律勅令中行政訴訟ヲ許シタル規定ナシ

(昭和八年第四百三十九號
同 九年六月十三日宣告)

〔判決理由〕本件指令書ニ「願主北澤萬策本年七月三十一日付願道路敷境界明示ノ儀左ノ通心得ヘシ昭和八年七月三十一日北澤郡大津町長木峯太郎、左記一、實地指示ノ通り通路敷境界ハ別紙圖面ノ通トス一、工事落成ノ上ハ其旨届出檢査ヲ受クヘシ一、境界線ヨリ一尺五寸ノ距離ヲ保守シ建築スヘシ一、前面ニハ排水溝ヲ設置スヘシ一、檢査ノ際ニ指示ニ違背スルトキハ改造若クハ除却セシムヘシ」トアルコトト管理者大津町長カ道路法施行令第十條ノ告示ヲ爲ササリシコトノ當事者間爭ナキ事實ヨリ見レハ本件指令ハ北澤萬策ニ對シ道路敷地ノ範圍ヲ指示シタルニ止マリ道路法第十九條ノ處分ト認メ難キノミナラス其ノ他ノ法律勅令中斯クノ如キ事項ニ付行政訴訟ノ提起ヲ許シタル規定ナキ

ヲ以テ本訴ハ不適法ナリトス

○京間ニ依ル建物坪數算定ノ適否

收用審査會ノ裁決ニ於テ建物ノ坪數ヲ京間ト稱スル異例ノ算定法ニ依リ算定スルモ其ノ算定ニシテ事實上錯誤ナク且實地ニ照シテ明確ナル以上之ヲ以テ違法ナリト謂フヲ得ス

(昭和五年第六十二號
同十年三月二日宣告)

〔判決理由〕原告ハ起業者ノ裁決申請書ニ於テハ正當ナル坪數計算法ニ依リ坪數ヲ計算セルニモ拘ラス被告ハ本件ノ裁決ニ於テ京間ト稱スル異例ノ算定法ニ依リタルハ違法ナリト主張スルモ其ノ算定ニシテ事實上錯誤ナク且實地ニ照シ明確ナル以上之ヲ以テ違法ナリト謂フヲ得ス而シテ右算定ニ錯誤アリ又ハ實地ニ照シテ明確ナラスト認ムヘキ何等立證ナキヲ以テ此ノ點ニ關スル原告ノ主張ハ之ヲ採用スルヲ得ス

○補償金額ノ算定ト起業者ノ申立範圍

收用審査會ノ裁決ニ於テ同一人ノ所有ニ屬スル地上物件ノ移轉及之ニ伴フ改築ノ費用補償金額ヲ算定スルニ當リ起業

者ノ裁決申請書ニ記載セル物件ノ種目ヲ包括算定スルハ之ヲ不當ナリト謂フヲ得サレトモ右裁決ニ於テ起業者ノ申立テタル物件ヲ所有者ノ意見ニ基カスシテ削除シ又ハ其ノ補償金額ヲ減少スルハ土地收用法第四十一條ニ所謂起業者ノ申立テタル範圍ヲ超ユル場合ニ該當シ同條ノ規定ニ違背スルモノト解スルヲ相當トス

(昭和五年第六十二號
同十年三月二日宣告)

〔判決理由〕(要旨同文)從テ本件起業者申請書ニ於テ精米機清水式一臺五十圓、シャフト臺鐵製アングル一組十五圓、シャフト長一間五分一ヶ所五圓、電動機三馬力一臺四十圓、電動室木製一ヶ所十圓ト記載シアルヲ本件裁決書ニ於テハ之ヲ一括シテ精米機一式三十圓トシ起業者申請書ニ於テ電燈メーター付九燈三十六圓トアルヲ本件裁決書ニ於テハ電燈九個二十七圓トシ又起業者申請書ニ於テ金庫臺及金庫煉瓦積一個十五圓トアルヲ本件裁決書ニ於テハ金庫移轉一式五圓トセルカ如キハ何レモ起業者ノ申立タル範圍ヲ超ユル違法ノ裁決ニシテ取消ヲ免ラサルモノトス

○所有權移轉ノ假登記アル土地ノ收用

土地收用ノ場合ニ當該土地ニ付キ所有權移轉ノ假登記アルモ收用手續ハ假登記義務者（或ハ登記簿上ノ所有名義人）

ヲ所有者トシテ之ヲ遂行スヘキモノトス

收用後右ノ假登記ニ對スル本登記カ爲サルルモ收用ノ効力

ニハ何等ノ影響ナク本登記權利者ハ起業者ニ對シ補償金ノ請求權ヲ有セサルモノトス

（大審昭和九年（オ）第二〇三二號）
同 十年三月五日判決）

〔判決理由〕假登記ハ他日本登記ノ爲サルルコトヲ條件ト

シテ假登記權利者ノ爲メニ關係的處分禁止ノ効力ヲ生ス之

ヲ詳言スレハ假登記後當該不動産ニ付第三者トノ間ニ行

ハルル各般ノ物權變動（所謂中間處分）ハソレ自體有効ナ

ルヲ失ハサルト共ニ一旦本登記カ爲サルルニ及ヒテ此等物

權變動ハ本登記權利者ニ對抗スルヲ得サルモノ之ヲ假登記

ノ効力ト爲ス今土地收用法ニ依ル收用ハ公共ノ利益ト爲ル

ヘキ事業ノ爲メ其ノ所要ノ土地ヲ收用スル必要アル場合ニ

行ハルルモノナルカ故ニ當該土地ニ付已ニ或人ノ爲ニスル

所有權移轉ノ假登記カ存スル場合ト雖之ヲ行フヲ得ルハ論

ナキノミナラス收用後右假登記ニ對スル本登記カ或ハ爲サ

レタレハトテ之カ爲ニ俄ニ夫ノ關係的處分禁止ノ効力ヲ發

生シ曩ノ收用ハ之ニ對抗スルヲ得サルニ至ルト云フカ如キ

道理ノ有ルヘカラサルハ公益上收用ナル制度ヲ認メタル法

意ニ照シ殆ト自明ノ數ナラスンハアラス否正シク云ヘハ右

ノ本登記ノ如キハ抑之ヲ爲スヘキ又爲シ得ル限りニアラス

假令登記手續上何等カノ經緯ニ依リ偶々斯カル本登記カ爲

サレタレハトテ开ハ固ヨリ寸動アルコトナシ蓋シ本登記ナ

ルモノハ假登記ト相俟チテ關係的處分禁止ノ効力ヲ發生ス

レハコソ之ヲ爲スノ意味モアレ今ヤ收用ニ因ル物權變動

（一ノ中間處分）ノ絕對性ニ壓倒セラレテ夫ノ効力ノ如キ

ハ又發生ノ餘地ヲ留メサルニ於テ本登記ヲ爲スハ此際一片

徒爾ノ舉ニ過キサレハナリ若シ夫レ以上假登記アル土地ニ

對シテハ何人ヲ所有者トシテ收用手續ヲ遂行スヘキヤト云

フニ他ナシ假登記ソノモノハ本登記ノ如キ對抗力ヲ有セス

是當院ノ判例トスルコロナリ假登記アル場合ニハ本登記

ノ果シテ爲サルルヤ否ヲ見定メテ後始メテ收用ノ事ニ從フ

テ趣旨ノ規定アラハ格別第三者ヨリ之ヲ觀レハ從來ヨリ所有者タル假登記義務者カ取りモ直サス依然タル所有者ナルニ於テ凡ソ收用ノ手續ハ此人ヲ以テ所有者トシテ遂行スヘキコト何ノ疑カコレ有ラム而シテ補償金ノ拂渡亦是ニ對シテ之ヲ爲スヘキハ則チ其必然ノ結果ニ外ナラス但假登記アル場合ヲ以テ補償金借託(土地收用法第六十條第二項)ノ一例ニ數フヘキヤ否ヤ及ヒ所有權移轉ノ當事者タル假登記權利者ト假登記義務者間ノ關係ニ於テ此ノ享ケタル補償金ハ竟ニ彼ニ歸スヘキモノナラサルヤ否ヤ這ハ一ハ則チ立法論ニシテ他ハ則チ内部ノ關係總テ本件ト沒交渉ナルハ素ト多ク云フノ要ナカラムナリ

○道路占用ノ意義

道路法第二十八條ニ所謂道路ノ占用トハ路面、上空、地下ノ何レナルヲ問ハス一般交通用以外ニ排他的ニ之ヲ使用スル意義ト解スルヲ相當トス

(昭和八年第二十八號
同十年三月六日宣告)

○公租公課ノ免除ト道路上占用料納付義務

政府ヨリ補助金ノ交付一定ノ公租公課ノ免除アルノ故ヲ以

テ免除ノ明文ナキ地方鐵道業ニ依ル道路ノ占用ニ付占用料納付ノ義務ナシト爲スヘキニ非ス(昭和八年第二十八號
同十年三月六日宣告)

〔判決理由〕原告ハ原告經營ノ如キ地方鐵道業ニ付テハ政府ヨリ補助金ノ交付公租公課ノ免除等ノ特典アルノミナラス直接ニ道路ヲ使用スル軌道ニ付占用料ヲ徵收セサルカ故ニ地方鐵道業ニ於テモ本件ノ如キ場合ニ占用料ノ徵收ヲ認メサル法意ト解スヘキ旨主張スルモ政府ヨリ補助金ノ交付一定ノ公租公課ノ免除アルノ故ヲ以テ免除ノ明文ナキ本件占用料納付ノ義務ナシト爲スヘカラサルハ勿論軌道ニ付現在占用料ヲ徵收セサルハ軌道法第四條後段ニ於テ「此ノ場合ニ於ケル道路ノ占用料ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依ル」ト規定スルニ拘ラス其ノ命令カ未タ公布セラレサルカ爲ニ過キサルノミナラス特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外道路ニ敷設スヘキ軌道ニ關スル軌道法ノ規定ヲ引用シテ已ムコトヲ得サル場合ニ於テ主務大臣ノ許可ヲ受ケタルトキノ外道路ニ敷設スルコトヲ得サル地方鐵道ニ關スル占用料ヲ律スヘキニ非ス

○町村道ノ路線廢止認可不服ト出訴權

町村道ノ路線ノ廢止ニ付監督官廳ノ爲シタル認可ニ對シテハ道路法其ノ他法律勅令中行政訴訟ノ提起ヲ認メタル規定ナシ

(昭和十年第五十九號
同年三月十一日裁決)

〔裁決理由〕道路法第五十八條ハ同法又ハ同法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ付主務大臣又ハ管理者ノ爲シタル違法處分ニ因リ權利ヲ毀損セラレタリトスル者ハ當該判所ニ出訴スルコトヲ得ル旨ヲ規定スルニ止マリ町村道ノ路線ノ廢止ニ付監督官廳ノ爲シタル認可ニ對シテハ同法其ノ他ノ法律勅令中行政訴訟ノ提起ヲ認メタル規定ナシ

○水道買收價格協定ノ爲メ爲シタル申込ノ性質

水道條例第十七條ニ依リ買收價格協定ノ爲メ爲シタル申込ハ行政處分ト謂フヲ得ス從テ行政訴訟ノ目的タヘルキモノニ非ス

(昭和十年第九十二號
同年三月二十七日裁決)

○自動車運輸事業免許申請却下不服ノ訴ノ承繼

大正八年內務省令第一號自動車取締令施行中地方長官ニ對シ路線ヲ定メ定期ニ運行スル自動車運輸事業ノ免許ヲ申請

シ之カ却下ノ處分ヲ受ケタル者ヨリ同長官ヲ相手方トシ提起シタル行政訴訟ニ付テハ自動車交通事業法ノ施行ト同時ニ鐵道大臣ニ於テ其ノ相手方トシテ訴訟手續ヲ受繼スヘキモノトス

(昭和七年第七十四號
同年三月二十六日宣告)

○自動車取締令及自動車交通事業法ニ依リ免許ノ性質

舊法タル自動車取締令及新法タル自動車交通事業法ニ依リ自動車運輸事業ノ免許ハ其ノ性質ヲ別異ニスルモノト解スルヲ得ス

(昭和七年第七十四號
同年三月二十六日宣告)

〔判決理由〕案スルニ新舊法(註、新法トハ自動車交通事業法舊法トハ自動車取締令ヲ指稱ス)共ニ一般交通ノ便宜上路線ヲ定メ定期ニ運行スル自動車運輸事業ヲ營メントスル者ハ所轄官廳ノ免許ヲ受クヘキモノト規定シアリ而シテ右免許ノ申請カ如何ナル條件ヲ具備スル場合ニ所轄官廳カ免許ヲ爲スヘキモノナルカニ付テハ新舊法共ニ直接明文ノ觀ルヘキモノ無ク從テ此ノ點ヨリシテ新舊法上ノ免許ノ性質ヲ論斷スルヲ得スト雖其ノ免許ニ關スル主要ノ規定ト觀ルヘキ新法第十五條第一號第二號ト舊法第二十六條第一號、新法第

十二條ト舊法第十四條但書トヲ夫々對照考覈スレハ其ノ規定ノ用語ニ多少ノ相違アリ文詞ニ精粗アルモ新舊法共ニ免許ヲ受ケタル者ニ事業遂行ノ義務ヲ負ハシメタルモノト解スヘク又新法第四條、第七條、第十條第一號第二號、並同法施行規則第一條第二條ニ於テ運賃路線並運輸系統等ニ付テハ所轄官廳ノ監督ニ服スヘキモノト規定シ之ニ對シ舊法第三十四條ニ於テハ本令ニ定ムルモノノ外必要ナル事項ハ地方長官ヲシテ之ヲ規定セシムトアリテ路線ヲ定メ定期ニ運行スル自動車運輸營業ニ於テハ路線運賃等ニ付所轄官廳ノ前示同様ノ監督ニ服スヘキコトハ其ノ事業ノ性質上當然ノコトナルカ故ニ上述ノ事項ニ付テハ舊法第三十四條ハ地方長官ノ命令ノ規定スル所ニ委任シタルモノト解スルヲ相當トシ從テ同法ニ於テモ上述ノ事項ニ付テハ所轄官廳ノ監督ニ服スヘキモノトノ趣旨ナルコトヲ觀取スルニ難カラス以上ノ事項ト舊法施行中ニアリテモ昭和三年十一月鐵道省官制改正以後ハ地方長官カ前記自動車運輸事業ノ免許ヲ爲サントスル場合ニハ鐵道大臣ニ稟伺スヘキ旨ノ同大臣ノ訓

令ニ依據シ其ノ指示ノ下ニ地方長官カ右免許ヲ爲シ居リタル事實トヲ綜合スレハ新舊法上ノ免許ハ其ノ性質ヲ別異ニスルモノト解スルヲ得サルモノニシテ被告カ免許ノ基ク法規ノ一ハ法律ニシテ他ハ命令ナルコトヨリ考察スルモ新舊法上ノ免許ハ其ノ性質ヲ異ニスルモノト論斷スルハ獨自ノ見解ニ因ルモノニシテ之ヲ認容スルノ限ニアラス

○競賣手續開始決定ト土地ノ一部ノ收用

競賣手續開始決定後其ノ目的タル土地ノ一部カ土地收用法ニ依リ收用セラレタルトキハ其ノ收用セラレタル部分ニ對スル開始決定ハ之ヲ取消スヘキモノナルモ殘餘ノ部分ニ對スル手續ハ之ヲ取消スヘキモノニ非ス

(大審昭和十年ク第五五七號)
同十年五月四日決定

〔決定理由〕按スルニ原審認定ノ如ク本件不動産中佐賀市水ケ江町字片田江小路二百五十三番宅地千六百四十坪五合一勺カ本件競賣手續開始決定後土地收用ニ依リ分割セラレ同所二百五十三番ノ二宅地百二十一坪八合四勺ト爾餘ノ部分ノ二筆トナリ前者カ國ノ所有ニ歸シタルモノナル以上千

六百四十坪五合一勺ノ土地ノ表示ハ之ヲ右二筆ノ各表示ニ更正シテ該開始決定中國ノ所有ニ歸シタル其ノ一筆ニ對スル部分ハ之ヲ取消スヘキモノナルモ他ノ一筆ニ對スル部分ハ之ヲ取消スヘキ理由アルモノト云フヲ得サルニ拘ラス原審カ右更正ノ手續ヲ經スシテ千六百四十坪五合一勺ニ對スル部分全部ノ取消ヲ爲シタルハ違法ナリ

○府縣道保存ノ瑕疵ニ因ル損害賠償責任者

府縣知事ノ管理スル府縣道ノ保存ニ瑕疵アルニ因リ生シタル損害ニ付テハ管理者タル知事ニ於テ賠償責任ヲ負フハ格別道路費用負擔者タル府縣ニ於テ賠償責任ヲ負フモノニ非ス

(大審昭和九年(オ)第一〇九六號
同十年五月三十一日判決)

〔判決理由〕按スルニ道路法第二十條ニ依レハ道路ノ新設改築修繕及維持ハ管理者之ヲ爲スヘキモノニシテ其ノ國道以外ノ道路ハ其ノ路線ノ認定者ヲ以テ管理者ト爲シ府縣道ノ路線ハ府縣知事之ヲ認定スルコト同法第十七條第十一條ノ規定スル所ナルヲ以テ府縣道ノ新設改築修繕及維持ハ府縣知事ノ任務ニ屬スルモノトス從テ府縣知事ノ管理スル道

路ノ新設改築修繕及維持ニ關シ第三者ノ間ニ契約關係ニ基キ給付ヲ爲スヘキモノアルトキハ府縣知事ニ於テ直接之カ給付ノ責任アルヤ論ヲ俟タス兩リ而シテ道路法第三十三條第二項ニ依レハ國道以外ノ道路ニ關スル費用ハ管理者タル行政廳ノ統轄スル公共團體ニ於テ之ヲ負擔スヘキモノナルヲ府テ縣道ニ屬スル道路ニ關スル費用ハ公共團體タル府縣ニ於テ之ヲ負擔スヘキコト勿論ナルモ府縣ハ此ノ場合ニ於テモ費用負擔者トシテ其ノ道路ニ關スル費用額ヲ管理者タル府縣知事ニ對シ支出スル義務アルニ止マリ府縣知事以外ノ第三者ニ對シテハ縱令其ノ第三者ハ府縣知事カ道路管理者トシテ爲シタル道路ニ關スル契約關係ノ當事者ナル場合ニ於テモ直接給付ノ責任ヲ負フコトナシ即チ道路ニ關スル費用トシテ第三者ニ支拂フヘキ金額ハ府縣知事其ノ支拂ヲナスノ義務アルモノニシテ府縣ハ斯ル義務ナキモノトス本件ニ於テ原審ノ確定シタル事實ニ依レハ本件事故ノ生シタル道路ハ群馬縣知事ノ管理スル府縣道ナルヲ以テ其ノ道路ノ保存ニ瑕疵アルニ因リ生シタル損害ニ付管理者タル

群馬縣知事ニ於テ被害者ニ對シ賠償ノ義務ヲ負フハ格別上告人群馬縣ニ於テ直接斯カル義務ヲ負フコトナキハ明ナルヲ以テ上告人ニ對スル本件請求ハ既ニ此ノ點ニ於テ之ヲ排斥セサルヘカラス然ルニ原審カ上告人ハ道路法第三十三條第二項ニ依リ本件道路ニ關スル費用ノ負擔者ナルヲ以テ本件事故ニ因ル損害ヲ被害者ニ賠償スル義務アルモノト判示シタルハ道路法第三十三條第二項及民法第七百七十七條ノ解釋ト適用ヲ誤リタルモノニシテ原判決ハ破毀ヲ免レサルノミナラス上告人ニ對スル本件請求ハ之ヲ棄却スヘキモノトス

〔上告理由〕……本件請求ハ土地工作物占有者トシテノ國ノ民法上ニ於ケル不法行為ノ責任ヲ原因トスルモノニシテ之ヲ道路路行政行為ニ基ク費用ナリト解スルヲ得ス蓋シ道路法第三十三條カ道路ノ「新設又ハ改築ニ要スル費用」ハ管理者タル行政廳ノ統轄スル公共團體ノ負擔トスル旨ヲ規定シタルハ道路ハ國家交通行政ノ地盤ヲ爲スヲ以テ國家自ラ之ヲ所有シ管理スルモ其ノ道路路行政（例ヘハ甲地ヨリ乙地ニ

道路ヲ新設シ又ハ乙地ヨリ丙地ニ至ル道路ヲ改築スルカ如キ）ノ結果最モ直接的ニ利益ヲ享受スル者ハ當該沿道ノ住民ナルヲ以テ法ハ此等ノ者ヲ以テ組成セラルル地域團體タル縣ヲ以テ其ノ利益享受ノ主體ト認メ縣ヲシテ道路ノ費用ヲ負擔セシムルヲ相當ト爲シタルカ爲メナリサレハ縣ハ國カ道路路行政ノ主體トシテ道路ノ保存改良ノ爲メニ支出シタル費用ヲ負擔スルモ（例ヘハ國道ヲ新設又ハ改築スル爲メニ土地ヲ收用シタルニ因ル補償金ノ如シ、大審院昭和二年（オ）第六八七號事件判決參照）國カ何等行政ノ主體トシテ活動シタルニ非シテ單ナル民法上ノ土地ノ工作物占有者トシテ負擔スル不法行為ニ因ル損害賠償義務ノ如キハ之ヲ道路法ニ所謂道路ノ「新設又ハ改築ニ要スル費用」ナリト爲スコトヲ得サルカ故ニ縣ハ之カ辨償ヲ擔當スルノ義務アルコトナシ然ルニ原判決カ本件國ノ責任カ民法上ノ土地ノ工作物ノ瑕疵ニ基因スル不法行為上ノ夫レナルコトヲ認メナカラ上告人（被告）縣ニ國ノ負擔スヘキ此ノ不法行為ニ因ル損害賠償義務ヲ被害者ニ對シ履行スルノ義務アリト爲シタルハ法ノ

解釋ヲ誤リタルモノト謂ハサルヘカラス

○ 準據法令ヲ異ニスル道路鋪裝

東京市長施行ノ區劃整理地區内ノ道路ノ鋪裝工事ヲ同一法律ニヨリ施行スヘシトノ法令ノ規定ナシ

(昭和九年第二百三十七號
十年七月二十日宣告)

〔判決理由〕本訴負擔金關係ノ道路ト既納負擔金關係ノ道路トハ共ニ東京市長施行ノ區劃整理地區内ノ道路ニシテ相接觸シソノ幅員形狀ヲ同一ニスルモ之カ爲ニソノ鋪裝工事ヲ同一法律ニヨリテ施行スヘシトノ法令ノ規定ナキヲ以テ本訴負擔金關係ノ道路ハソノ歩車道ヲ道路法ニヨリ鋪裝シ既納負擔金關係ノ道路ハソノ歩道ノミヲ道路法ニヨリ鋪裝シソノ車道ハ特別都市計畫法ニヨリテ鋪裝スルモ違法ニアラス

○ 道路法ニ依リ管理者ノ爲シタル代執行ニ對スル行政訴訟

道路管理者タル町村長ノ爲シタル道路ニ存スル工作物ノ除却命令竝之ヲ強制スル爲メ行政執行法第五條第一號ニ依ル

代執行及費用徵收命令ニ對シ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ヲ經ルコトナクシテ提起シタル行政訴訟ハ適法ノ手續ニ違背スルモノトス

(昭和九年第九十八號
同十年十月四日裁決)

○ 町村道認定不服ト出訴權

町村道ノ認定處分ニ對シテハ該處分ニ因リ權利ヲ毀損セラレタリトスル者ニ非サレハ道路法第五十八條ニ依リ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得サルモノトス

(昭和十年第四百四十九號
同十年十一月十一日裁決)

○ 道路敷地ト隣接民有地トノ境界査定ノ準據法令

道路法ノ適用ヲ受クル道路ノ敷地ト其ノ隣接民有地トノ境界査定ハ國有財産法竝之カ附屬法令ノ規定ニ依リテ爲スヘキモノトス

(昭和三年第七十一號
同十年十二月二十一日宣告)

〔判決理由〕原告ハ原告所有地ノ北境ハ道路法ニ依リ調布町長ノ管理ニ係ル道路ニ接シ居リ右道路ト原告所有地トノ境界査定ハ道路管理者ニ於テ爲スヘキモノニシテ被告ハ之カ權限ナキモノナルカ故ニ本件査定中右部分ノ査定ハ無權限ノ者ノ爲シタル無効ノモノナル旨主張スルモ道路法第十

九條ノ規定ニ依リ道路ノ區域ヲ定ムル道路管理者ノ權限ハ單ニ道路ノ地域的範圍ヲ定ムル權限タルニ止マリ已ニ定メラレタル道路ノ區域ト隣接民有地トノ境界ヲ確認スル權限ヲ包含セサルモノト解スルヲ相當トシ道路法其ノ他ノ法令中道路管理者カ道路ノ敷地ト之ニ接スル民有地トノ境界ヲ確認スル權限ヲ有スル趣旨ノ規定ナキヲ以テ之カ境界ノ査定ハ官民有地ノ境界査定ノ一般法タル國有財産法竝之カ附屬法令ノ規定ニ依リテ之ヲ爲スヘキモノニシテ同法令(國有財産法第三條、同法施行令第十四條、内務省所管國有財産取扱規程第二條第三條參照)ニ依レハ境界査定ハ民有地トノ境界ヲ確認スル必要アル道路ノ所在地ヲ管轄スル北海道廳長官及府縣知事ノ權限ニ屬スルモノト解スルヲ相當トス

○**殘地收用ノ申立ト地上物件ノ收用**

裁決申請後土地所有者ノ爲シタル殘地收用ノ申立ニ依リ其ノ地上物件ノ移轉ノ必要ヲ生シ其ノ移轉料カ物件ノ價格ヲ超過スト認ムル場合ニハ起業者ハ其ノ物件ニ付何等協議ヲ爲スコトナク土地收用法第五十二條ニ依リ物件ノ收用ヲ請

求スルコトヲ得ルモノトス (昭和十年十二月二十八日宣告)

○**地上物件ノ價格カ移轉料ヨリ少額ナル場合ト地上物件收用裁決ノ當否**

收用審査會カ裁決申請後土地所有者ヨリ提出シタル殘地ノ收用及其ノ地上物件ノ移轉料ノ補償ヲ求ムル意見書及之ニ對シ起業者ヨリ提出シタル殘地ノ收用ノ請求ニ付テハ異議ナキモ地上物件ノ移轉料ハ其ノ相當價格ヲ超ユルモノナルニヨリ之カ收用ノ裁決ヲ求ムル旨ノ申立書ニ基キ審査シ地上物件ノ價格カ移轉料ヨリ少額ナリト認メタル結果右地上物件ノ收用ノ裁決ヲ爲シタルハ當事者ノ申立ノ範圍ヲ超エタルモノト云フコトヲ得ス (昭和十年第一百六十九號同十年十二月二十八日宣告)

○**殘地收用ヲ請求セサル場合ト殘地上ノ物件ノ處置**

起業者カ其ノ事業ニ必要ナル土地ノ權利ヲ取得スル爲メ協議シタル際土地所有者カ單ニ之ニ應セス且殘地ノ價格ノ減少ニ關スル損失ノ補償ヲ請求シタルニ止マリ之カ收用ヲ請求セサル場合ニ於テハ起業者ハ殘地上ノ物件ノ移轉ニ關シテ何等協議スルコトナク其ノ事業ノ爲ニ必要ナル土地ノ收

用ノ裁決ヲ收用審査會ニ申請シタルハ適法ナリ

(昭和十年第六十九號)
(同十年十二月二十八日宣告)

〔判決理由〕起業者ハ土地收用法第二十二條ニ依リ前示土地ニ關スル權利ヲ取得スル爲メ土地所有者及關係人ニ對シ適法ニ協議ヲ爲シタルモ協議不調ニ歸シタルモノト認ムルヲ相當トス而シテ係争ノ土藏ハ前記收用スヘキ土地ノ上ニ在ラス之ニ接續シ之ト一體ヲ爲シ一ノ宅地ニ使用セラレ居ル同町大字新屋字新屋町六一番ノ三ノ上ニ存在スルコトハ當事者間ニ争ナキ所ナルカ故ニ争係ノ土藏ヲ移轉スルノ要アルヤ否ハ右土藏ノ所在スル土地カ本件收用ノ爲殘地トシテ土地所有者ヨリ起業者ニ收用ノ請求ヲ爲シ起業者カ之ヲ承諾シタルトキニ始メテ生スル問題ニ屬ス然ルニ原告ハ右殘地ノ收用ヲ前記協議ノ當時起業者ニ請求セス單ニ土地收用法第四十九條ニ依ル殘地ノ價格ノ減少ニ因ル損失補償ヲ請求シタルモノナルコトハ原告ノ主張自體ニ依リ明ナル所ナルヲ以テ斯クノ如キ場合ニ於ケル殘地上ノ物件ノ移轉ニ關シテハ土地收用法第二十二條ノ適用ナキモノト解スルヲ

法 令

相當トス從テ起業者ハ右物件ノ移轉ニ關シ何等協議ヲ爲スコトナク其ノ事業ノ爲ニ必要ナル土地ノ收用ノ裁決ヲ被告ニ申請シタルハ適法……

○道路鋪裝工事費ノ範圍

明治神宮表參道ノ步車道ノ境界、下水ノ設置等ニ要スル工事費ハ東京市告示第百七十五號道路鋪裝工事費受益者負擔規程第一條ニ所謂道路鋪裝工事費ニ該當スルモノト解スヘキモノトス

(昭和三年第七十八號)
(同十年十二月二十八日宣告)

〔判決理由〕鑑定人ノ鑑定書中「普通ニ鋪裝工事ト稱スルモ道路工事ノ一種ニ屬ス而シテ路面鋪裝ヲ爲スハ步車道境界下水、同境界石、雨水榭等ノ工事ヲ同時ニ施行スルニ非サレハ鋪裝工事ノ完璧ヲ期スルコト能ハサルヲ以テ之等ノ工事ハ所謂鋪裝工事ノ一態様ヲ爲スモノト謂フヲ得ヘシ即チ單ニ鋪裝ト云ヘハ路面ヲ鋪裝スルニ止マルカ如キモ鋪裝工事ト云フトキハ常ニ之等ノ工事ヲモ包含スルモノト爲スヲ相當トスヘシ彼ノ田舎道國縣道等ニテ在來ノ砂利道表面ニ單ニアスフアルト其ノ他ノ鋪裝ヲ爲ス場合ニハ此等ノ工事

一七五

ヲ省略シ單ニ表面鋪裝ヲ爲スニ止マルコトアレトモ完備セル
 街路ニ在リテハ如此工程ノミニテ終ル場合ハ寧ロ稀有ノ
 コトニ屬ス本件明治神宮表參道ノ場合ハ道路技術一般觀念
 上鋪裝工事中ニハ歩車道境界下水、同境界石、雨水枳等ノ
 工事ヲモ包含スルモノト爲スヲ穩當トスヘシ但シ偶々請負
 ニ附シ施行スル場合ニ之等ノ工事ト表面鋪裝トヲ別々ニ取
 扱フコトアルモ之畢竟施行上ノ便宜ヨリ起ルコトニシテ之
 ヲ以テ鋪裝工事ノ範圍内ニ非スト稱スルコト能ハサルヘ
 シ」ノ記載アルニ依レハ本件道路ニ施工セラレタル歩車道
 ノ境界下水設置等ノ工事ハ本件鋪裝工事中ニ包含セラルヘ
 キモノト認ムルヲ相當トスルカ故ニ之等ノ工事ニ要スル費
 用ハ東京市告示第七十五號道路鋪裝工事費受益者負擔規
 程第一條ニ所謂道路鋪裝工事費ニ該當スルモノト解スヘキ
 モノトス(昭和十年十二月二十八日宣告同三年第百四號事件同旨)

○道路鋪裝ト受益ノ有無

〔判決理由〕原告ハ道路法第三十九條ハ「道路ニ關スル工
 事ニ因リ著シク利益ヲ受クル者アルトキ」ト規定シ工事ニ

直接ノ關係ヲ有スル者カ受クル所ノ利益ヲ主眼トシタルコ
 ト其ノ文詞ニ徴シ明ナルヲ以テ同條ニ所謂工事ニ因リ著シ
 ク利益ヲ受クトハ新舊道路ヲ比較シ其ノ間ニ於テ沿道住民
 カ現實ニ利益ヲ受クルノ義ニ外ナラス而シテ本件道路ハ鋪
 裝前ニ於テモ已ニ其ノ構造設備ニ間然スル所ナキ砂利道ニ
 シテ鋪裝後ハ却テ太陽ノ反射熱強ク爲ニ盛夏ノ頃ハ沿道ノ
 住宅店舗内ニ在リテモ仍華氏百度以上ノ氣溫ヲ示スコト少
 カラス通行者モ亦赤道直下ヲ過クルノ感アリテ原告ハ本件
 道路ノ鋪裝ニ因リ法律上所謂著シキ利益ヲ受クル者ト云フ
 ヘカラサル旨主張スルモ本件道路鋪裝工事ニ因リ沿道住民
 カ受クル利益其ノ他ノ事項ニ付テ原告ノ申請ニ係ル鑑定人
 内務省東京土木出張所長眞田秀吉ノ鑑定書中「鋪裝道カ砂
 利道ニ勝ルハ誰人モ否ム能ハサル所ニシテ今日ニテハ沿道
 住民カ競ツテ道路ノ鋪裝ヲ當局ニ陳情シ來レルハ之ヲ證シ
 テ餘リアリト云フヘシ多クノ場合砂利道ニ鋪裝スレハ商業
 ハ繁昌シ住宅ハ快適ト衛生トラ増シ車馬ノ牽引力ヲ增加シ
 物資ノ運賃ヲ輕減シ爲ニ人民ニ福利ヲ齎ラスモノナリ」ト

ノ記載ニ依レハ本件道路ノ鋪裝工事ニ因リ交通上ノ利便ヲ増進シ沿道土地ノ利用價值ヲ増加スルモノト認ムルヲ相當トス然レハ砂利道ニ比シ鋪裝道路ハ原告主張ノ如キ缺點ヲ有スルモノトスルモ斯クノ如キ缺點アルノ故ヲ以テ沿道土地ノ權利者タル原告ハ本件道路鋪裝工事ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ニ非スト爲スヲ得ス（昭和七年五月二十七日宣告同四年第百六十四號事件判決參照）（昭和三年第七十八號）
○道路受益者負擔金賦課ノ當否

市町村道ノ管理者ハ道路法第五十二條並同法施行令第二十条條及第二十二條ノ規定ニ依リ適法ニ監督官廳ノ認可ヲ受ケテ費用ノ負擔方法ヲ定メ其ノ公布式ニ依リ之ヲ適法ニ告示シタルトキハ右定ニ依リ道路法第十五條ノ規定ニ依リテ認定シタル市町村外ノ道路ノ受益者ニ對シテモ工事費ノ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得ルモノトス

（昭和三年第七十八號）
同十年十二月二十八日宣告

〔判決理由〕同法第三十九條ニハ道路管理者ハ道路ニ關スル工事ニ因リ著シク利益ヲ受クル者ヲシテ利益ヲ受クル限

度ニ於テ道路ニ關スル費用ノ一部ヲ負擔セシムル權限ヲ有スル旨ノ規定アリ而モ道路管理者ハ其ノ管理スル當該市町村外ノ道路ニ付テハ其ノ工事ニ因ル受益者ニ工事費ノ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得サル趣旨ヲ認ムルニ足ル何等ノ規定モナキニ依リ道路管理者カ右權限ヲ行使スルニ付テハ道路法第五十二條並同法施行令第二十條及第二十二條ニ依リ右受益者ニ費用ヲ負擔セシムルコト並其ノ負擔方法ヲ定ムルコトノミニ關シ監督官廳ノ認可ヲ受クルコトヲ要スルモ其ノ他ノ事項ニ關シテハ道路法並其ノ附屬勅令及省令中何等規定スル所ナキヲ以テ道路ノ管理者ハ右道路法並同法施行令ノ各規定ニ依リ適法ニ監督官廳ノ認可ヲ受ケテ費用ノ負擔方法ヲ定メ其ノ公布式ニ依リ之ヲ適法ニ告示シタルトキハ右定ニ依リ道路法第十五條ノ規定ニ依リ認定シタル市町村外ノ道路ノ受益者ニ對シテモ工事費ノ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得ルモノト解スルヲ相當トス